

記憶に残る末川 博の言葉

「未来を信じ 未来に生きる 君におくる」



理想は高く 姿勢を低く
いつも心に 太陽をもって
一歩ずつ 前へ前へと進もう



表題は、私の部屋に掲げている末川先生の言葉です。人にはそれぞれ自分の故郷があり、育ててもらった学び舎、母校があります。

私は教育者であり法学者でもあった末川先生を尊敬し、私が小学生当時、先生が学長、総長を務められていた学校に18才で入学し、22才で卒業しました。母校には入学する前から深い思い入れがあります。また私の人生や考え方は母校と切り離せないものだとも考えています。母校の教学の理念は、人生の幾多の困難を乗り越えて行く上での原動力であり、末川先生の学校を卒業したことは私の誇りでもあります。

末川先生の極めて大きな社会的業績の1つが、現在の六法全書の形を作り上げたことです。それ以前の法規集は非常に高価で、しかも民法、商法と分冊され使いにくい形式でした。岩波書店から依頼を受け、作成作業には末川先生と先生の門下生4名の裁判官や3名の法学者が従事しました。末川先生の創意工夫を凝らした岩波版六法全書の発刊により旧来の不便な六法は淘汰され、今では法律家のバイブルとなっています。

昨今は色々なことが目まぐるしく変化し、災害も多く、安定した社会とはいいがたかったかもしれません。一年が過ぎてしまうのはものすごく早く、今思うと長いようであつという間だったように感じます。社会が様々進歩した中でも、誰もが気軽に携帯電話を使って、いつでもインターネットを手元で操作できる、その様な画期的な時代が来るとは想像していませんでした。次の時代はどんな嬉しい進歩があるのでしょうか。

新型コロナウイルスによって、長い間私たちが積み重ねてきた伝統や文化が一気に壊れてしまいました。末川先生の言葉を飛躍や向上を象徴するものとして捉え、これからは夢のある世界が早く復活するようお願い、頭を使い工夫しながら、前に進みたいですね。

令和5年4月1日

花園保育園 (K)